

きらめき 上條小



校長室だより

No. 4

泉大津市立上條小学校

校長 西鍵 利一 2013.6.28

オリエンテーリング

子どもたちが大いに楽しみにしている行事の1つ、『オリエンテーリング大会』が、13日(木)に行われました。たて割り活動の班で、1年生から6年生までが協力して各コーナーにチャレンジします。そしてそれ以上に感心したのは、

学級委員さん達とその前の児童朝礼で、各コーナーの紹介をコント風に演じて見せてくれるのです。『魚釣り』では、魚役に扮して釣り人とのバトルを演じてくれたり、フリースローでは、



(↑ストラックアウト)



(↑豆つかみ)

子どもがバスケに、ボーリングでは子どもがピンに、豆つかみでは子どもが豆になっての演出に、みんな拍手喝采でした。ストラックアウトやわりばしダーツは、実物を使って試して見せてくれました。こういう行事は、本番もちろんですが、事前のこういう取組みに大きな意味があると思っています。単に行事をすればいい、のではなく、こうした取組みに、子ども達の工夫があり、心の煌めきがある！と思うのです。とにかく小学校では、いろんなことを体験して、心震わせる経験を積むことが大切だと思います。点数を上げることが第1つて言う人には、こういう行事は無駄に思うのかもしれないが…。

そして最後に児童会の役員の子供達による閉会式があって、何人かにインタビューもしていましたが、なかなかお見事でしたよ。お疲れさんでしたm(_ _)m

そしてたて割り活動をもう1つ。月に1回ぐらい仲よし集会として朝礼でゲームをしたりしています。



(↑仲よし集会)

1年生のために6年生が腰をかがめて一生懸命がんばっている姿は本当に微笑ましく、心が癒される想いがします。思いやりの心をずっとこれからも…。



(↑魚釣り)



(↑フリースロー)



(↑ボーリング)



(↑わりばしダーツ)

一斉下校にご協力を!



7月18日(木) 12:10~12:35に、非常事態における一斉

下校訓練を実施します。12時10分に1年生から順に下校していきますので、家の前で結構ですので、下校路の子ども達の見守りにご協力いただければ嬉しいです。こういう訓練が無駄に終わってほしいと願うばかりです。よろしくお祈りします。



役者やお〜!

パントマイムに魅せられて



毎年、鑑賞教育として劇であったり、音楽であったりいろいろな分野の芸術に触れる機会を設けるんですが、今年は、6月4日にパントマイムの劇団の方々に来ていただいて、妙技絶技を見せていただきました。例の、壁が無いのに、アルアル! 荷物が宙に浮いて固定してる!? 階段なんて無いのに、アルアル! といった超人技(左写真)は、ナルホドお見事! なんですが、一番の拍手喝采を浴びたのは、自ら名乗り出て舞台上上がり、一緒にパフォーマンス

を演じた役者4人組でした(うち一人は古村先生)。ドタバタあり、ラブロマンスありで出演料もらってもよかったんちゃう? ていうぐらいの最高の出来栄でした。さすが上條!!



を演じた役者4人組でした(うち一人は古村先生)。ドタバタあり、ラブロマンスありで出演料もらってもよかったんちゃう? ていうぐらいの最高の出来栄でした。さすが上條!!



PTA文化委員会 手作り教室



6月25日(火)に、PTA文化委員会主催の手作り教室が開かれました。途中、そうおっと見に行かせて

てもらおうと...ランチルームに響く軽やかな美声。今回は「サザレ天然石のブレスレット、ピアス or イヤリング」と、私には縁遠い物でしたが、みなさん本当に無我夢中で創作。見ると、超細かい作業で、私には...見えない。試作に始まって本番の準備まで本当に大変だったと思います。大中委員長さん始め文化委員のお母さん方ありがとうございました。お疲れさまでした。



2	火	なかよし朝礼、 (※ ★は放課後学校に遊びに来られない日です)
3	水	教育研究部会、★
5	金	個人懇談①、
6	土	社会を明るくするつどい、
7	日	小津ネットサマーカーニバル、
8	月	個人懇談②、
9	火	個人懇談③、児童朝礼、
10	水	クラブ活動、
11	木	PTA 実行委員会、
15	月	海の日、
17	水	給食終了、代表委員会、
18	木	大掃除、一斉下校、
19	金	終業式、
21	日	5年林間学校(～23日(火))、
24	水	プール登校(～26日(金))、



山犬クロのものがたり (後編)



こうしてクロとの出会いを果たした翌日、さあ大変！そりゃあそうです、突然キャンプ場に犬がいるんですから。もちろんロープで首輪を作って、そのロープにつないではいるものの、私以外の人間にはまったくつかない。近寄ろうとしようもんなら…

“ウワンワンワン…！！”とまあこれでもかかっていうぐらい吠えまくりん！！“クロ！”って私が叱ると静かにかしこくなる。また“ウワンワンワン!!!…”“クロ！”という繰り返し。そしてどこへ行くのも私と一緒にでした。私の横にピタッと張り付くようにして、付いてくるのでした。“水浴びでも…すっか？”そう言って、キャンプ場の中の小川と一緒に水浴びするのが大好きでした。川の中でとび跳ねながら、冷たさを満喫しました。舞い上がる水しぶきが、夏の光に映えて金の粒を纏っているかのようなのでした。出会うまでの生き立ちは知るすべも無いのですが、きっとこの山を自由に駆け巡りながら、たくましく生きてきたのでしょう。ですから、できるだけロープは外してあげました。それでも私の側は離れませんでした。

ある日、そんなキャンプ場に大雨が降りました。すぐ側を流れている小川も一気に増水して、その小川にかけてある手作りの丸太の橋が、なんと流されてしまったのです。仕方なく、丸太橋捜索隊って感じで、下流へと川をたどって行きました。もちろん側にはクロがピッタリと寄り添うように付いて来ています。しばらく下がったら、あつた！やれやれよかった！そう思って河原に降りようとした時、そこにたまたま遊びに来ていた男の人が大きなシェパードを連れて来ていて、川で遊んでいたのです。そのシェパードが、私が川の方へ降りて行こうとしたのに反応して、私に向かって“グワン！！”と一声吠えたのです。すると！止める間もなく瞬時に反応したクロは、なんとそのでかいシェパードに一直線に駆け下りて飛びかかっていったのです。“ヤバイ、やられるぞ”って思って私も後を追って駆け下りながら見たのは…勇猛果敢、怯むことなくシェパードを圧倒しているクロの姿でした。ヤバイのは相手の方でした。相手の飼い主もクロを追い払いながら“なんでこんな中型の雑種に…”って思っていたでしょう。私が駆け付けて、“クロ、やめ！”で、一件落着。“クロ、私を守ろうとしてくれたんかな？”“ありがとう！”“けど、ほんまに強いなあ…”（^、*；

こうして夏の日々が過ぎて行きました。そうです、キャンプ場は夏だけの開設ですから、お盆の前には全て撤収するのです。そう、クロとの悲しいお別れの日がやって来たのでした。その時、我が家にはチビという犬を飼っていましたので、もう1匹というわけにはいかないのです。チビにとってクロが来るのはそれはしんどいことですから。それに、やはりクロは、家でずっと鎖につながれて生きていくのは望まないでしょうから。全ての機材を撤収し、メンバーも次々とキャンプ場を離れていきました。最後に残った

のは、私とクロの二人だけでした。“クロ、楽しかったか？…” “私は…楽しかったよ” “出会ってよかったよなあ？” “私は、出会ってよかったよ…” “けど、もうお別れ…” “ごめんな…” “連れて帰っては、あげられないよ” “クロもここで暮らす方がいいよなあ…” 何かを感じてか、いつも以上に私の側にくっつくように身体を寄せてきます。そして湿った鼻先を私の顔にすりつけては、なめてくれました。“さあ、もう時間やよ” “また来年、来るから…” “その時にまた、会おうな…” 私の顔は、なめられたからか涙だからか分からなくなるほど濡れてしまいました。“クロ…さよなら…” そう言って車に乗り込みました。そして山道を走りだしました。ルームミラーにクロの姿が映りました。そう、懸命に車の後を追って、走っているのです。やがてその姿も涙でかすみ…、クロはやがて立ち止り…じっと私を見送ってくれているかのようでした。どんな想いで私を見送ってくれたのかは分かりません…出会えば必ず別れがあるのは分かっていた…よくよく分かっていたんですが…出会ったときのあの夜中の二人の1シーンが、心の奥底に湧き上がっては消え、浮かんでは消えて行きました。

次の年、もうクロと出会うことはありませんでした。もちろん今はもう亡くなっているのですが、私の心の中でずっと生き続けています。

人生とは儚きものかもしれません、命に限りがあるように。しかし、命と命が出会い、やがて別れが来ようとも、生きる人の心の中に永遠に生き続けるのです。だから永遠に人は出会いを求めて、よりすばらしい出会いを求めて生きていくのかもしれません。

命は、儚いがゆえに尊いのです。

完

私の青春の1ページにお付き合いいただいてありがとうございました。そうそう、実は嬉しいサプライズがあったのです。前回の前編を呼んで下さったあるお父さんから、自分はその私がやってたキャンプに参加していた！というのです。その時にビッグなエピソードがあって、そのことを思わず二人で語り合い、確認し合ったのでした。世の中、不思議なご縁ってあるんですね…。

さて次回からは、本当にさりげない、何気ない、けど、ほのぼのとした『ねこものがたり Season 2』をお送りしたいと思います。本当に Season 1 ほどドラマチックではありませんので。というのも、本当に何人かの方から Season 2 の連載をお願いしますという声をお聞きしたのです。全然保護者じゃない方からもです。驚きと、嬉しさと、そしてプレッシャーと！… (>。~) 本当に平凡な物語になると思いますが、それでも懲りずに読んでいただけると嬉しいです。どうかよろしくお願いします。